

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8256
担当部課名	建築部	住宅	課	管理 係
事務事業名	住宅審議会経費		事業コード	24221

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	美しいまちなみと良好な居住環境を創造します。	事業開始年度
基本施策名	第2節	良好な住まいづくりの推進	~63 年度
施策名	第2施策	良質な公的賃貸住宅の供給	

## 2 実施根拠及び関連法令等

附属機関の設置に関する条例	相模原市住宅審議会規則
---------------	-------------

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
市営住宅入居者の選定、その他市営住宅の運営上必要な事項について、市長の諮問に応じて調査審議し、その結果を答申すること。		住宅審議会委員	
		対象数	6人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
1 相模原市住宅審議会の開催 4回 2 市営住宅入居予定者の実態調査 3 審議会委員の構成 ・市議会委員 3名 ・民生委員 2名 ・市の職員 1名		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

## 4 評価指標

指標名	年間答申率		
指標式	年間答申回数 / 諮問回数 × 100		
指標設定の意図	市長の諮問に応じて答申することが、住宅審議会の大きな役割となっている。		

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	2.0	2.0	a 2.0	b 2.0	2.0
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	411	336	380	404
	人員・時間数	368h	368h	368h	368h
	人件費	1,502	1,502	1,502	1,502
	その他経費	0	0	0	0
	合計	1,913	1,838	1,882	1,906
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{2.0}{2.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
---	----------------------------	----------------------------

理由： 入居者の選定に関する内容が主な答申となっている。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 市営住宅への応募者が増加している中、市民を代表する立場から、調査、審査することは重要である。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 経費のほとんどが委員の報酬である。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 市民を代表する方から意見を聞くことが重要であり、代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由： 個人情報等の関係から住宅審議会を公開していない。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 市営住宅入居者の選定等、第3者機関として当審議会の役割は重要である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明：</p> 審議会の機能は十分果たしている。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明：</p> 審議会の開催等最低の経費で運営している。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	市営住宅の入居者の決定は、困窮度評価方式を採っており、市民を代表する立場から、調査・審査を行う住宅審議会の役割は重要であり、今後も実施していく。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点